

史跡 小牧野遺跡

(読み方) しせき こまきのいせき

(英語) Komakino Stone Circle

【所在地】

青森県青森市野沢

【年代】

紀元前 2,000 年頃 (約 4,000 年前)

【キャッチコピー】

複雑な配石構造を持つ大規模な環状列石

【説明文：95字】

八甲田山西麓に広がる台地上に立地する環状列石を主体とする祭祀遺跡。環状列石は、中央帯、内帯、外帯の三重で、一部四重となり、全体で直径 55m となる。三角形岩版などの祭祀遺物が多数出土している。

【説明文：150字】

八甲田山西麓に広がる台地上に立地する環状列石を主体とする祭祀遺跡。環状列石は、中央帯・内帯・外帯の三重となり、その周りに一部四重となる列石もみられ、全体で直径 55m になる。内帯と外帯は楕円形の石を縦・横に配置して円環が形成されている。土偶やミニチュア土器、三角形岩版などの祭祀遺物が多数出土している。

【説明文：248字】

八甲田山西麓に広がる台地上に立地する環状列石を主体とする祭祀遺跡。環状列石は、中央帯・内帯・外帯の三重構造で、その周りに一部四重となる列石が配置され、全体で直径 55m になる。環状列石は、土地造成が行われた後、楕円形の石を縦・横に組み合わせて円環状に配置して構築されている。環状列石やその周囲の捨て場からは、土偶やミニチュア土器、400 点を超える三角形岩版などの祭祀遺物が出土している。本遺跡の周辺には環状列石が確認されていないため、複数の集落によって構築、維持・管理されたものと考えられている。